



*JSEM

日本電子音楽協会 特別演奏会
ライブエレクトロニクス
オーディオビジュアル
電子音響音楽コンサート

水沼慎一郎

林恭平

桃井聖司

高野大夢

門脇治

大久保雅基

2018年 8月11日 日

18:00 開演 (17:30 開場)

エル・パーク仙台
スタジオホール
入場無料

助成 公益財団法人 仙台市市民文化事業団
後援 先端芸術音楽創作学会

水沼 慎一郎



Shin-ichiro Mizunuma

新潟大学、スコラ・カントルム(パリ)卒業
「一条工務店」「トヨタ」CM音楽制作
「Skyscape for 6 sensors + loudspeakers
(仙台マチナカアート2012)」 「Toccat for
piano(CCMC2018入選)」 ピアノソロアルバム
「ふわり」が坂本龍一氏に好評を得る。作曲
を門脇治、鈴木雅光、清水研作、ナルシス・ボ
ネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。

高野 大夢



Hiromu Takano

電子音響音楽を中心に、時間・空間・テクノロ
ジーおよびそれらの認知に対する思考をベー
スとした創作研究を行う。自作品の発表・上演
のほか、電子音響音楽作品の上演における音響
システムのエンジニア/インタープリターとして
も活動し、多くの作品上演に携わる。賞歴に
CCMC入選(2007、2011)、第2回東京国際歌曲
作曲コンクール入選(2011)、ICMC入選(2017)
など。日本電子音楽協会会員。

林 恭平



Kyohei Hayashi

1984年福井県で生まれる。2012年、大阪芸術
大学大学院作曲コース修了。七ツ矢博資、上
原和夫、宇都宮泰、檜垣智也、各氏に師事す
る。電子音、具体音によって表現した、文学性
に富んだ電子音響作品は、国内外で多数、入
賞、入選を果たし高い評価を得ている。また、
音楽制作だけではなく、絵画、映像制作も同
時に行っている。2016年度、2017年度、
Russolo(フランス)にて最終審査員の一人に
任命される。

桃井 聖司



Seiji Memei

愛知県岡崎市出身。東京都練馬区在住。愛知県
立芸術大学で作曲を専攻。作曲を兼田敏、和
声・対位法を平田裕一、松井昭彦、岡坂慶紀の
各氏に師事。「ヘラクレスの栄光III・IV」「メテ
オス」「大乱闘スマッシュブラザーズX」などの
ゲーム音楽を初め、映画、ミュージカルの音楽
を多数制作。日本電子音楽協会の公演で
「Motet XX」「飛龍天翔」「空の呼吸」「...楽園の
愉悦」などの電子音楽作品を発表。今回は「電
力芸術演奏会2013」以来5年ぶりの出品。

門脇 治



Osamu Kadowaki

1964年塩竈市生まれ。宮城教育大学および
同大学院にて作曲を故本間雅夫、吉川和夫の
両氏に師事。ジャンルにとらわれない活動を
続けている。平成10年度宮城県芸術選奨新
人賞、平成15年度文化庁舞台芸術創作奨励賞
入選。日本電子音楽協会、日本現代音楽協会、
日本作曲家協議会、宮城県芸術協会会員。

大久保 雅基



Motoki Ohkubo

1988年仙台市生まれ。アコースティック楽器
や演奏行為にテクノロジーを組み込み、生演奏
にデジタルの所作を融合させた作品を制作し
ている。洗足学園音楽大学音楽・音響デザイ
ンコースを成績優秀者として卒業。情報科学
芸術大学院大学[IAMAS]メディア表現研究科
修士課程修了。名古屋芸術大学デザイン領域、
愛知淑徳大学人間情報学部非常勤講師。日本電
子音楽協会、先端芸術音楽創作学会会員。

公演概要

日時 2018年 8月11日 日 18:00 開演(17:30開場)
料金 入場無料
会場 エル・パーク仙台 スタジオホール
助成 公益財団法人 仙台市市民文化事業団
後援 先端芸術音楽創作学会

- * 車椅子でご来場の方は事前に日本電子音楽協会までご連絡ください。
- * 未就学児の入場はご遠慮ください。
- * 満席の場合は入場をお断りする場合がございます。

主催・お問い合わせ先



日本電子音楽協会

<http://jsem.sakura.ne.jp/>

info-jsem@jsem.sakura.ne.jp

アクセス



エル・パーク仙台 スタジオホール

〒980-8555
宮城県仙台市青葉区一番町4丁目11番1号
141ビル(仙台三越定禅寺通り館)6階

地下鉄

仙台市営地下鉄 南北線
勾当台公園駅より 徒歩3分
広瀬通駅より 徒歩8分

バス

商工会議所前より 徒歩3分
定禅寺通市役所前より 徒歩2分

Japanese Electronic Music Microcosm では

オンライン上で日本電子音楽協会会員の作品を鑑賞できます。

http://jsem.sakura.ne.jp/jsem_olp/



* JSEM

日本電子音楽協会 特別演奏会
ライブエレクトロニクス
オーディオビジュアル
電子音響音楽コンサート

水沼慎一郎

林恭平

桃井聖司

高野大夢

門脇治

大久保雅基

2018年8月11日 田

18:00 開演 (17:30 開場)

エル・パーク仙台
スタジオホール

会長あいさつ

1992年に作曲家、研究者、技術者らによって設立された日本電子音楽協会（JSEM）は、今日まで26年の間、日々刷新されるテクノロジーと音楽／芸術との新しいあり方を社会に問い続けてきました。近年は一層その活動の幅を広げています。

2015年のサラマンカホール電子音響音楽祭での二つのコンサートや、2017年に「電子音響音楽国際研究大会EMS2017」が名古屋で開催されるのを機に催した「特別演奏会」は記憶に新しいところです。後者は、海外からの参加者の方を歓迎するための特別企画でした。

電子音楽、ミュージック・コンクレート、コンピュータ音楽、アコースモニウムなど様々な名で呼ばれてきた「電子音響音楽」は、今や特殊なものではなく、望めば誰もが実践できる身近な「音楽」になりました。そこで問われているのは、作曲家たちが新しいテクノロジーを「使った」音楽を創れるかどうかではなく、新しいテクノロジーの「中で」音楽そのものを新たに定義し直すことができるかどうかです。これに答えるべく作曲家たちの力作にご期待ください。

日本電子音楽協会会長
水野みか子

企画者あいさつ

ご来場頂き誠にありがとうございます。仙台在住の作曲家として、仙台市での開催が実現でき大変光栄に思います。

音楽が多種多様に誕生している現代、聴かれ方も変化してきました。本来音楽とは目の前に演奏家が存在し演奏されることで聴かれるものでした。近代に録音技術が登場しレコードやCDなどの媒体により音楽家が居ない状況でも音楽が再生できるようになりました。それによって、音楽が雰囲気作りのBGMとしても扱われるようにもなりました。現代では音楽をPC等にデータとして保存するようになり、さらには音楽を購入せずとも動画投稿サイトや音楽配信サービスなどで聴くこともできます。多くの人々にとって、1つの音楽を集中して聴く機会は減ってしまっているのではないのでしょうか？

*JSEMには、このような時代においても新たな音楽を創作し続ける作曲家たちが出品します。コンピュータなどの電子機器を用いて作られる音楽、そしてコンサートで演奏される音楽とは、いったいどのようなものなのでしょうか。これからの音楽をお楽しみ下さい。

日本電子音楽協会*JSEM担当
大久保雅基 門脇治

プログラム

桃井 聖司 Seiji Momoi
Re:Rhythm

林 恭平 Kyohei Hayashi
揚羽受信流恋愛 Sunrise Shadow

門脇 治 Osamu Kadowaki
ロリポップ Rolipop

高野 大夢 Hiromu Takano
Skew Position (live version)

水沼 慎一郎 Shinichiro Mizunuma
トッカータ II Toccata II

大久保 雅基 Motoki Ohkubo
sd.mod.live

Re:Rhythm

編成

パーカッション、コンピューター

演奏

パーカッション 富岡 春絵
PC オペレーション 桃井 聖司

解説

アコースティック・パーカッションとエレクトロニック・パーカッションを使用し、舞台上をアクロバティックに移動しながら演奏するパーカッション奏者による即興演奏と、お客様による演奏アクション、そしてPCにリアルタイム・サンプリングされた演奏フレーズを対話的に絡めなが

ら、作品全体にゲーム性を持たせました。「観て、聴いて、参加して楽しめる電子音楽」をテーマに、最も原初的な演奏行為である「叩く」という動作にスポットを当て、Universality=普遍性とContemporary=同時代性の共存を試みました。

Seiji Momoi

桃井聖司



作曲者プロフィール

愛知県岡崎市出身。東京都練馬区在住。愛知県立芸術大学で作曲を専攻。作曲を兼田敏、理論を平田裕一、松井昭彦、岡坂慶紀の各氏に師事。「ヘラクレスの栄光Ⅲ・Ⅳ」「メテオス」「大乱闘スマッシュブラザーズX」などのゲーム音楽を初め、映画、ミュージカルの音楽を多数制作。日本電子音楽協会の公演で「Motel XX」「飛龍天翔」「空の呼吸」「楽園の愉悅...」などの電子音楽作品を発表。今回は「電力芸術演奏会2013」以来5年ぶりの出品。

Harue Tomioka

富岡春絵



演奏者プロフィール

東京都出身。武蔵野音楽大学器楽科打楽器専攻卒業。打楽器を相川穂、菅谷亮一、吉原すみれの各氏に師事。オーケストラや吹奏楽から、ジャズやポップスのライブまで積極的に活動。日本テレビ系「ウルトラマンDASH!!」にてティンパニを、ロックバンド「くるり」のシングルCD「ふたつの世界」でパーカッションを担当。吹奏楽団「Blitz Philharmonic Winds」、踊るプラスバンド「THE RED CATS」、打楽器アンサンブル「GimmiC」各メンバー。

揚羽受信流恋愛 Sunrise Shadow

編成

映像、ステレオ

担当

主演、映像、音楽 林恭平

解説

私にはわからない。一体何がどうなっていくのか。世の中の道程がわからないのである。人は、世は、流れていただけなのだろうか？

その流れは必然なのだろうか？「楽に、早く、便利に」。しかし、そうなると一体、芸術とは何なのだろうか？

どこまでも答えは出ない。楽に早く便利な世になったら人は幸福なのだろうか？ そうなのかも知れない。しかし、それに、少し抗ってみたい気もする。

作曲者プロフィール

1984年福井県で生まれる。2012年、大阪芸術大学大学院作曲コース修了。セツ矢博資、上原和夫、宇都宮泰、石上和也、檜垣智也に師事する。少年時代より電子音楽の創作を行う。世界的な電子音楽のコンテストである Prix Russolo において、2016年度、2017年度、2018年度の最終審査員の一人に任命される。

Kyohei Hayashi



林恭平

ロリポップ Rolipop

編成

Roll Lightpad block, MacBook

演奏

コンピュータ 門脇治

解説

LollipopではなくてRolipop。電子音楽とかコンピュータ音楽とか言うと特殊なものと言われるのは狭い環境で、ポップの世界でそんなことを言う人はいないだろう。と同時に色々なデバイスが登場すると使ってみたくなるのが悪いクセ。

ROLIから興味深い幾つかのデバイスが発売されて、鍵盤状のものはララランドにも登場するほどポップ。今回はブロック状のものを使ってほぼ即興で音を紡いで見ようと思います。ポポンポンボン。

Osamu Kadowaki



作曲家プロフィール

1964年塩竈市生まれ。作曲を故本間雅夫、吉川和夫の両氏に師事。幅広いジャンルの作編曲を行う。電子音楽協会主催のイベントでは、ライブパフォーマンスを多く行っている。平成10年度宮城県芸術選奨新人賞、平成15年度文化庁舞台芸術創作奨励賞入選。日本電子音楽協会、日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、宮城県芸術協会各会員。

Skew Position (live version)

編成

コンピュータ

演奏

コンピュータ 高野 大夢

解説

近頃作曲者は、自身が「全体性への懐疑」を（おそらくいふ前から）抱いていることを強く自覚するようになった。それは音楽において「全体として統一である音楽作品」に対する疑問として現れてくる。本作の制作においては、音同士の緊密な連関やいわゆる「音楽的な」時間の流れを放棄し、ただひたすら「交わらなさ」そのものを表出させることを試みたが、これも上述のような作曲者の（思想的）指向により自然と企図されたも

のであると、今では感じている。

本作は8スピーカーのための電子音響音楽作品として作曲され、2018年3月、CCMC Contemporary Computer Music Concert 2018（アンスティチュ・フランセ東京）にて初演された。今回「JSEM」での発表にあたり、ステレオかつライブバージョンにコンバートし上演することとした。

作曲者プロフィール

電子音響音楽を中心に、時間・空間・テクノロジーおよびそれらの認知に対する思考をベースとした創作研究を行う。自作品の発表・上演のほか、電子音響音楽作品の上演における音響システムのエンジニア/インタープリターとしても活動し、多くの作品上演に携わる。賞歴にCCMC入選（2007、2011）、第2回東京国際歌曲作曲コンクール入選（2011）、ICMC入選（2017）など。日本電子音楽協会会員。

Hiromu Takano



高野大夢

トッカータ II Toccata II

編成

映像、ステレオ

解説

作為の無い自然の音は、どんな音楽よりも、私はロマンと美しさを感じる。風の息吹は、木葉の生み出す素朴で複雑な音像を生み出し、夜空に煌めく星雲の如き音空間を作り出す。我々がそれを音楽として表現する際、たとえ偶然性や即興性に基づくものであっても、作曲技法・作為さを消す事は難しいだろう。であれば、自然の素材で無作為に叩いた音が重なり合うことで、極限まで作為さを抑えた音楽ができないだろうか。ただし、そ

れだけでは、稚戯に等しき偶然の産物として作品が誤認されかねない。そのため、私は13以下のフィボナッチ数で各パート・セクション及び連続する音を調整した上で、一斉に音が鳴る場所を1つの起点し、統合された音像が低域から高域へ推移する関連性のある展開を持たせた。それはまさに、太古から続く自然の音が、現在のテクノロジーを介することで、音楽を作る原点を見つめなおし、音そのものに対する楽しみを想起させる。

Shinichiro Mizunuma

水沼慎一郎



作曲家プロフィール

新潟大学、スコラ・カントルム(パリ)卒業 「一条工務店」「トヨタ」CM音楽制作 「Skyscape for 6 sensors + loudspeakers(仙台マチナカアート2012)」 「Toccata for piano(CCMC2018入選)」

ピアノソロアルバム「ふわり」が坂本龍一氏に好評を得る。作曲を門脇治、鈴木雅光、清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエーノの各氏に師事。

sd.mod.live

編成

コンピュータ、映像、スネアドラム2

演奏

コンピュータ 大久保雅基

解説

本作は打楽器奏者による即興演奏の映像とスネアドラムを使用したオーディオヴィジュアル・パフォーマンス作品である。映像の中で行われた演奏を、スピーカーを用いて演奏の音を再生するのではなく、実際のスネアドラムで再現する。

映像は2018年1月30日に撮影された、打楽器奏者 関聡氏による10分程度の即興演奏である。

この映像は、コントローラーによってパフォーマンスのサンプリング素材として使用される。演奏者の即興演奏による連続的なリズムと、コントロールによるスキップやループなどの断片的なリズムが融合される。2つの異なるリズムが融合された音と映像は、それらが互いの枠から脱しようと抗う様子にも見えるだろう。

作曲者プロフィール

1988年仙台市生まれ。アコースティック楽器や演奏行為にテクノロジーを組み込み、生演奏にデジタルの所作を融合させた作品を制作している。洗足学園音楽大学 音楽・音響デザインコースを成績優秀者として卒業。情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] メディア表現研究科 修士課程修了。名古屋芸術大学デザイン領域、愛知淑徳大学人間情報学部非常勤講師。日本電子音楽協会、先端芸術音楽制作学会会員。

Motoki Ohkubo



大久保雅基

出品者の今後の予定

MOMO-TEN Delicious Night Vol.03

日時 2018年8月25日[土] 19:00-
会場 dot&blue (東京都港区赤坂7-9-7 ハルビゾン74 1F)
03-3568-3188
<https://www.dot-blue.net>

料金 3,000円+ワンオーダー

出演 MOMO-TEN
KOHTEN(Violin)
桃井 聖司(Piano)
三祿 沢信(Drums)

第一回 絶頂

日時 2018年9月22日[土] 14:00- / 18:00- (2回公演)
会場 エル・パーク仙台 ギャラリーホール

料金 前売 2,500円
当日 3,000円

曲目 スティーブ・ライヒ ディファレント・トレインズ
ジェルジュ・リグティ カルテット1番「夜の哀容」
アルフレート・シュニトケ カルテット3番
大久保 雅基 新作初演

出演 第1 ヴァイオリン 川又 明日香
第2 ヴァイオリン 瀧村 依里
ヴィオラ 飯野 和英
チェロ 吉岡 知広
司会 爆笑コメディアンズ 秀作
音響 大久保 雅基

URL <http://zetcho-sendai.com/>

スタッフ一覧

司会 門脇 治 大久保 雅基

出品者 桃井 聖司 林 恭平 門脇 治 高野 大夢
水沼 慎一郎 大久保 雅基

演奏者 富岡 春絵

音響 高野 大夢 大久保 雅基

サポートスタッフ 小山内 琴星 小林 華月

写真撮影 嵯峨 倫寛

チラシ、Web、プログラム制作 大久保 雅基

企画 大久保 雅基 門脇 治

主催

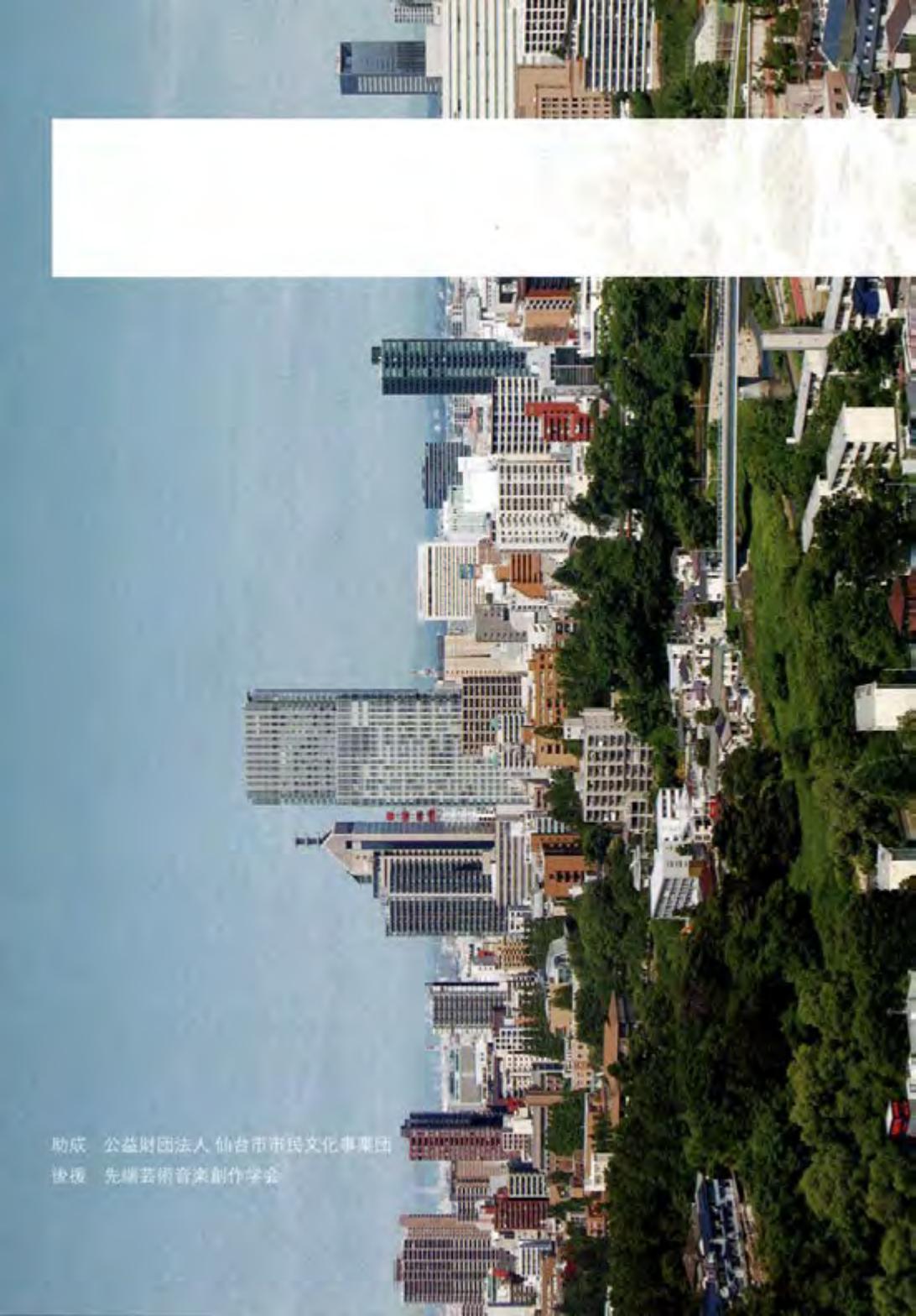


日本電子音楽協会

Japanese Society for Electronic Music

Japanese Electronic Music Microcosm では
インターネット上で日本電子音楽協会会員の作品を鑑賞できます。

http://jsem.sakura.ne.jp/jsem_olp/

An aerial photograph of a city skyline, likely Xian Tai, China. The image shows a dense cluster of modern high-rise buildings in the center, surrounded by lower-rise residential and commercial structures. A large green park area is visible on the right side. The sky is clear and blue. A large white rectangular area is present at the top of the image, partially obscuring the sky and some buildings.

助成 公益財団法人 仙台市市民文化事業団
後援 先端芸術音楽創作学会